

歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国民生活基礎調査における口腔保健に関する質問紙調査項目

安藤 雄一

Questionnaire items for oral health in Japanese Governmental Surveys

Yuichi Ando

キーワード：質問紙調査、歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国民生活基礎調査、口腔保健の評価

要 旨

近年、口腔保健における質問紙調査の活用が重視され、国レベルでも歯科疾患実態調査（以下、「歯調」）、国民健康・栄養調査（以下「栄調」）、国民生活基礎調査（以下、「基調」）において口腔保健に関する質問紙調査が行われてきたが、どのような質問項目がいつ行われたかについての整理が不十分であることから、全体を一覧する資料の作成を試みた。

厚生労働省ウェブサイトに掲載されている各調査のページを情報ソースとして、2003～2016年における各調査における口腔保健の質問項目について、「歯・口の状態」と「口腔保健行動」に分けてリストを作成した。

その結果、口腔保健に関する質問紙調査項目は、全体的にみて一貫性が乏しいことが確認された。期間中、継続して調査されたのは「歯・口の状態」では「栄調」による「歯の本数」と「基調」による自覚症状（歯・歯周・咀嚼）のみ、「口腔保健行動」では「栄調」による「歯科健康診査／歯科検診」と「基調」による「通院（歯科診療所）」のみであった。

はじめに

従来、口腔保健の評価指標は口腔診査による疾患レベルの指標が主であった。しかしながら、疾患レベルの指標だけでは口腔保健行動について評

価できないこと、また、口腔診査によらなくても集団の実態把握が質問紙調査で可能であることが示されたこと^{1, 2)}等の理由により、質問紙による評価が重視されるようになってきた。

歯科疾患実態調査³⁾（以下「歯調」）と国民健康・栄養調査（以下「栄調」）⁴⁾は、国民の口腔保健の水準を評価する政府統計の二本柱である。このうち「歯調」は歯科医師による口腔診査が主となる調査で半世紀以上前の1957年から実施されてきたが、最新の2016年調査では初めて本格的な質問紙調査が行われた。一方、「栄調」は調査自体が健康日本21の目標値をモニタリングする役割

【著者連絡先】

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
国立保健医療科学院
安藤雄一
TEL：048-458-6283 FAX：048-468-7985
E-mail：andoy@nipph.go.jp

を担っているという特性から、同調査の生活習慣状況調査において健康日本21における口腔保健関連の目標値等に関する質問項目が設けられてきた。

このほか国民生活基礎調査⁵⁾（以下、「基調」）においても口腔保健関連の質問項目が設けられてきた。この調査は国民生活の基盤となる様々な項目について行われる質問紙調査で、歯科に関しては3年に1回行われる大規模調査では健康票において自覚症状と通院状況が、それ以外の年に行われる簡易調査では世帯票において通院状況が調査されている。

以上述べた政府統計における口腔保健に関する質問紙調査結果は、個々の調査結果の一部として報告されてきたものの、筆者の知る限り、どのような質問項目がいつ行われたかが一覧された資料は今まで作成されていなかった。そこで今回、この資料の作成を試みたので、報告する。

方 法

情報ソースは、厚生労働省ウェブサイトに掲載されている「歯調」³⁾、「栄調」⁴⁾、「基調」⁵⁾のページとした。期間については、「栄調」が開始された2003年から最新の2016年までとした。

質問は、まず、以下の2つに分類した。

- ①歯・口の状態
- ②口腔保健行動

このうち、①「歯・口の状態」については更に以下の3つに分類した。

- ・ 専門家から指摘されたもの
- ・ 自己評価したもの
- ・ 自覚症状があるもの

一方、②の「口腔保健行動」については、深井の分類⁶⁾に従い、以下の3つに分類した。

- ・ 口腔清掃行動
- ・ 歯科受診・受療行動
- ・ 摂食行動

結 果

表1は、質問項目の分類別に各項目の調査実施

状況を概略的に示したものである。2003～2016年の間、継続的に調査された質問項目は「栄調」における成人の「歯の本数」と「歯の健康診査／歯科検診」、「基調」における成人・小児の自覚症状と通院（歯科診療所）であった。歯間部清掃では成人・小児ともに2010年まで「栄調」で毎年調査されたが、その後「栄調」では調査されなかった。「歯調」では2016年調査で質問紙調査が初めて行われ（質問紙のみの回答が初めてとそれと可とされた）ので、それまで未調査だったもの・他調査で散発的に調査されたもの・「歯調」の口腔診査受診者に聞き取ったものが質問紙調査の項目として調査された。

表2は、成人の歯・口の状態に関する各項目の質問文と調査実施状況を示したものである。前述した継続的に調査された項目（表1）のうち、「栄調」における「歯の本数」については、ほぼ毎回（2004～2010・2012～2016年）、同じ質問によって調査された。「基調」における自覚症状は、大規模調査の実施年（2004・2007・2010・2013・2016において歯・歯周・咀嚼に関する自覚症状が調査された。歯周については「栄調」において2004年と2009年に歯周病の各症状について調査された。

表3は、成人の口腔保健行動に関する各項目の質問文と調査実施状況を示したものである。前述した継続的に調査された項目（表1）のうち、「栄調」における「歯科健康診査／歯科検診」は成人に対して過去4回（2004・2009・2012・2016年）に調査された。基調の通院（歯科診療所）のうち大規模調査では2004年が「ムシ歯」と「歯肉炎・歯周疾患」に分けて歯科医院への通院状況が調査され、それ以外の大規模調査実施年では「歯の病気」として調査された。簡易調査の実施年は世帯票における傷病に関する質問の回答肢「歯科に入院中又は通院中（訪問診療も含む）」に該当するか否かが毎回調査された。口腔清掃行動のうち歯間部清掃を中心に2010年まで「栄調」で調査された。「歯調」では初めて行われた質問紙調査（2016年）において歯磨き・歯間部清掃・舌清掃

表1 各質問項目の調査実施状況

○:配布された質問紙に対象者が記入して回答した項目、△:口腔診査の際に診査者が聞き取った項目

	調査項目の分類		調査 #1	調査年(西暦下2桁)																
				03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
成人	歯・口の 状態	専門家指摘	歯周病	榮	○	○					○									
			歯の数	榮	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
		自己評価	補綴	榮		○						○								
				齒									△							
			自覚症状	咀嚼	榮		○					○				○		○		
					基		○			○			○			○		○		
				歯	基		○			○			○			○		○		
					齒															○
				歯周	榮		○					○					○			
					基		○			○			○				○		○	
				嚥下	榮										○			○		
					齒															○
	口腔乾燥	榮														○				
		齒															○			
	味覚	齒															○			
		齒															○			
	口腔 保健行動	口腔清掃行動	歯みがき	齒			△							△			○			
				榮			△										○			
			歯間部清掃	榮	○	○	○	○	○	○	○	○								
				齒									○							
受診・受療行動		舌清掃	榮									○								
			齒													○				
		歯磨き個人指導	榮		○						○									
			齒		○						○									
専門家によるクリーニング		榮		○						○										
		齒		○						○			○							
歯科検診		榮		○						○			○							
		齒		○						○			○							
歯科健診・専門家によるケア 通院(歯科診療所)	榮									○										
	基	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
摂食行動	食べる速さ	榮								○					○					
		齒								○					○					
小児	歯・口の 状態	歯	基		○			○			○			○		○				
			齒														○			
		歯周	基		○			○			○			○		○				
			榮								○				○					
		咀嚼	基		○			○			○			○		○				
			齒														○			
		嚥下	齒														○			
			齒														○			
	味覚	齒														○				
		齒														○				
	口腔乾燥	齒														○				
		齒														○				
	口臭	齒														○				
		齒														○				
	口腔 保健行動	口腔清掃行動	歯みがき	齒			△						△			○				
				榮									○							
			歯間部清掃	榮	○	○	○	○	○	○	○	○								
				齒									○							
		舌清掃	榮									○								
			齒													○				
フッ化物歯磨剤		榮		○						○										
		齒													○					
		榮		○						○										
		齒		○						○										
歯磨き個人指導		榮		○						○										
		齒		○						○										
歯石除去・歯面清掃 シーラント	榮		○						○											
	齒		○						○											
受診・受療行動	フッ化物塗布	齒		○	○					○		○								
		榮		○					○					○						
	フッ化物洗口#1	榮		○					○											
通院(歯科診療所)	榮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
	基	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
摂食行動	砂糖摂取	榮		○						○										
		齒		○						○										

#1 家庭応用について歯科医師の指導が必要と想定

表2 成人の歯・口の状態に関する質問紙調査項目の一覧

○：配布された質問紙に対象者が記入して回答した項目、△：口腔診査の際に診査者が聞き取った項目

調査項目の分類	調査 #1	質問	調査年(西暦下2桁)																
			03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
専門 技師 家の	歯周病	栄	歯周病(歯槽膿漏)と言われ治療している		○														
		栄	歯科医師から歯周病(歯槽膿漏)と言われ、治療している							○									
		栄	歯科医師から歯周病(歯槽膿漏)と言われたことがある							○									
自己 評価	歯の数	栄	あなたの歯の状態について、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけて下さい(5択)#2		○														
		栄	自分の歯は何本ありますか#3			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
	補綴	栄	歯の抜けたところはおぎなっていますか(3択)#4							○									
		栄	[補問] おぎなっている場合は、何でおぎなっていますか(MA)	入れ歯		○													
		栄		ブリッジ		○													
		栄		インプラント		○													
		歯	今現在、インプラント(人工歯根)が入っていますか #2														△		
咀嚼	栄	食事のときに入れ歯を使っていますか(4択)#5																	
	栄	かんで食べるときの状態について(4択)#5			○					○			○			○			
	栄	何でもかんで食べることができる										○							
	栄	自分の歯(入れ歯を含む)で左右の奥歯を噛みしめることができる								○							○		
	栄	半年前に比べて固いものが食べにくくなった															○		
	基	ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ(自覚症状)がありますか(MA)	かみにくい		○						○			○			○		
	歯	歯や口の状態について気になることはありますか(MA)：噛めないものがある																○	
自覚 症状	歯	基	ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ(自覚症状)がありますか(MA)	歯が痛い		○				○				○			○		
		歯	歯や口の状態について気になることはありますか(MA)：歯が痛い、しみる															○	
	歯周	栄	歯ぐきが腫れている			○					○						○		
		栄	歯を磨いたときに血が出る			○					○						○		
		栄	歯ぐきが下がって歯の根が出ている			○					○								
		栄	歯ぐきを押しと膿が出る			○					○								
		栄	歯がぐらぐらする			○					○								
		基	ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ(自覚症状)がありますか(MA)	歯ぐきのほれ・出血		○				○				○				○	
	歯	歯や口の状態について気になることはありますか(MA)		歯ぐきが痛い、はれている、出血がある														○	
	嚥下	栄	あなたは食べ物や飲み物が飲み込みにくく感じたり、食事にむせたりすることがありますか(4択)#6																○
		栄	お茶や汁物等でむせることがある																○
		歯	歯や口の状態について気になることはありますか(MA)		飲み込みにくい														○
	口腔 乾燥	栄	口の渴きが気になる																○
歯				口がかわく														○	
味覚	歯	歯や口の状態について気になることはありますか(MA)		味が分かりにくい														○	
	歯			口臭がある														○	
顎関節 の異常	歯	口を大きく開け閉めた時、あごの音がしますか					△						△					△	
	歯	口を大きく開け閉めた時、あごの痛みがありますか					△						△					△	

#1 栄＝国民健康・栄養調査、歯＝歯科疾患実態調査、基＝国民生活基礎調査

#2 全部ある／ほとんどある(27～20本)／半分以上ある(19～10本)／ほとんどない(9～1本)／まったくない

#3 数値を記入

#4 全部おぎなっている／一部おぎなっている／まったく、おぎなっていない

#5 いつも入れ歯を使っている／入れ歯を持っているが使わない時がある／入れ歯を持っているがほとんど使っていない／入れ歯を持っていない

#6 何でもかんで食べることができる／一部かめない食べ物がある／かめない食べ物が多い／かんで食べることはできない

表3 成人の口腔保健行動に関する質問紙調査項目の一覧

○: 配布された質問紙に対象者が記入して回答した項目、△: 口腔診査の際に診査者が聞き取った項目

調査項目の分類	調査#1	質問		調査年(西暦下2桁)																
				03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
口腔清掃行動	歯みがき	歯	歯みがき回数(5択)#2				△							△					○	
		榮	次の器具を使用していますか(MA)	歯ブラシ									○							
	歯間部清掃	榮	歯ブラシ以外に歯と歯の間を清掃するための専用器具(デンタルフロスや歯間ブラシなど)を使用していますか。		○															
		榮	次の器具を使用していますか(MA)	デンタルフロス・糸(付)ようじ		○	○	○	○	○	○	○								
		榮		歯間ブラシ		○	○	○	○	○	○									
		榮		歯間刺激子		○	○	○	○	○	○									
	榮	水流式口腔洗浄器		○	○	○	○	○	○											
	歯	以下に示す歯や口の清掃をおこなっていますか?(MA)	デンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯と歯の間を清掃している																○	
舌清掃	榮	次の器具を使用していますか(MA)	舌ブラシ										○							
	歯	以下に示す歯や口の清掃をおこなっていますか?(MA)	舌を清掃している																○	
歯磨き個人指導	榮	この1年間に「歯磨きの個人指導」を受けましたか#3			○						○									
受診・受療行動	専門家によるクリーニング	榮	この1年間に歯石の除去や歯面の清掃を受けましたか			○					○									
	歯科健康診査#4	榮	過去1年間に「歯科健康診査」を受診しましたか#3			○					○									
	歯科検診#4	榮	この1年間に、歯科検診を受けましたか										○						○	
	歯科健診、専門家によるケア	榮	この1年間に、歯の健康づくりのために歯科健康診査や専門家による口腔ケア(歯面の清掃、歯石の除去、入れ歯の調整など)を、どのくらいの頻度で受けましたか(3択)#5										○							
	通院(歯科診療所)	基	歯科に入院中又は通院中(訪問診療も含む)		○		○	○		○	○		○	○		○	○			
		基	現在、傷病(病気やけが)で病院や診療所(医院・歯科医院)、あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所)に通っていますか(往診・訪問診療含む)(MA)	ムシ歯		○														
基			歯肉炎・歯周疾患		○															
基			歯の病気				○				○				○				○	
行摂動食	食べる速さ	榮	食べる速さについて(5択)#6									○								
		榮	よくかんで味わって食べている										○							
		榮	ゆっくりよくかんで食事をする																○	

#1 榮=国民健康・栄養調査、歯=歯科疾患実態調査、基=国民生活基礎調査
 #2 毎日3回以上/毎日2回/毎日1回/ときどきみがく/みがかない
 #3 補問「どこで受けましたか(MA: 歯科診療諸(病院)/市町村・保健所/職場/学校/その他)」あり
 #4 「歯科健康診査」と「歯科検診」は内容的には同じものと捉えたので、本文中では「歯科健康診査/歯科検診」と表記している
 #5 半年に1回以上/1年に1回程度/受けていない
 #6 かなり速い/やや速い/普通/やや遅い/かなり遅い

表4 小児の質問紙調査項目の一覧

○：配布された質問紙に対象者が記入して回答した項目、△：口腔診査の際に診査者が聞き取った項目

調査項目の分類	調査#1	質問	調査年(西暦下2桁)																
			03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
歯・口の状態 自覚症状	歯	基	ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ(自覚症状)がありますか(MA)	歯が痛い		○												○	
		歯	歯や口の状態について気になることはありますか？(MA)	歯が痛い、しみる														○	
	歯周	基	ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ(自覚症状)がありますか(MA)	歯ぐきのはれ・出血		○			○						○			○	
		歯	歯や口の状態について気になることはありますか？(MA)	歯ぐきが痛い、はれている、出血がある														○	
	咀嚼	基	ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ(自覚症状)がありますか(MA)	かみにくい		○			○					○				○	
		歯		噛めないものがある														○	
	嚥下	歯	歯や口の状態について気になることはありますか？(MA)	飲み込みにくい														○	
	味覚	歯		味が分かりにくい														○	
	口腔乾燥	歯		口がかわく														○	
	口臭	歯		口臭がある														○	
	顎関節の異常	歯	口を大きく開け閉めした時、あごの音がしますか #6					△					△					△	
		歯	口を大きく開け閉めした時、あごの痛みがありますか #6					△					△					△	
	口腔清掃行動	歯みがき	歯	歯みがき回数(5択)#2			△					△						○	
		歯間部清掃	歯	以下に示す歯や口の清掃をおこなっていますか？(MA)	デンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯と歯の間を清掃している														○
歯				舌を清掃している														○	
フッ化物利用：歯磨剤		歯	むし歯予防のためにやっている又は行ったことがある項目(MA)	フッ化物配合の歯磨剤を使用している		○					○								
		歯	フッ化物応用の経験の有無(MA)	フッ化物配合歯磨剤の使用														△	
歯磨き個人指導		歯	この1年間に「歯磨きの個人指導」を受けましたか #3			○				○									
歯石除去・歯面清掃		歯	この1年間に歯石の除去や歯面の清掃を受けましたか			○					○								
		歯	むし歯予防のためにやっている又は行ったことがある項目(MA)	シーラント		○					○								
フッ化物利用：塗布		歯	フッ化物の塗布状況(4択：市町村保健センター等/その他の医療機関/受けたことがない/わからない)				△						△						
		歯	むし歯予防のためにやっている又は行ったことがある項目：フッ化物を歯に塗布したことがある	フッ化物塗布		○					○								△
フッ化物利用：洗口 #4		歯	むし歯予防のためにやっている又は行ったことがある項目(MA)	フッ化物の溶液で洗口(ぶくぶくがいがい)をしている		○					○								
		歯	フッ化物応用の経験の有無(MA)	フッ化物洗口															△
通院(歯科診療所)		基	歯科に入院中又は通院中(訪問診療も含む)			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		基	現在、傷病(病気やけが)で病院や診療所(医院・歯科医院)、あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所)に通っていますか(往診・訪問診療含む)(MA)	ムシ歯		○													
	基		歯肉炎・歯周疾患			○													
	基		歯の病気				○			○			○					○	
摂食行動	砂糖摂取	歯	間食(3食以外に食べるもの)として甜味食品・飲料を一日何回とりですか(5択)#5			○				○									
		歯	むし歯予防のためにやっている又は行ったことがある項目(MA)	間食の与え方に注意している							○								

#1 栄＝国民健康・栄養調査、歯＝歯科疾患実態調査、基＝国民生活基礎調査
 #2 毎日3回以上/毎日2回/毎日1回/ときどきみがかく/みがかかない
 #3 補間「どこで受けましたか(MA: 歯科診療所(病院)/市町村・保健所/職場/学校/その他)」あり
 #4 家庭応用について歯科医師の指導が必要と想定
 #5 0回/1回/2回/3回/4回以上

が調査された。

表4は、小児について各項目の質問文と調査実施状況を示したものである。自覚症状については成人(表2)と同様、「基調」の大規模調査年に歯・歯周・咀嚼について調査された。口腔保健行動では通院(歯科診療所)が成人(表3)と同様に調査された。

考 察

今回、口腔保健に関する代表的な政府統計である「歯調」と「栄調」に、国民生活に関する代表的な政府統計である「基調」における歯科の調査項目を加えて、口腔保健に関する質問紙項目の変遷をみたところ、全体的にみて一貫性が乏しいことが確認された。調査期間(2003～2016年)を通して継続して調査されたのは「歯・口の状態」では「栄調」による「歯の本数」と「基調」による自覚症状(歯・歯周・咀嚼)のみ、「口腔保健行動」では「栄調」による「歯科健康診査/歯科検診」と「基調」による「通院(歯科診療所)」のみであった。多くの項目について調査されたものの、経年的な推移をみることができたものは少なかったと言える。

かつて、口腔保健に関する国レベルの質問紙調査は、保健福祉動向調査において歯科保健をテーマとして過去3回(1987⁷⁾・1993⁸⁾・1999年⁹⁾)実施されたが、保健福祉動向調査自体が2003年に廃止となった¹⁰⁾。

「栄調」は2002年まで国民栄養調査として実施されていたものが2003年以降、調査名が「国民健康・栄養調査」と変わり、健康日本21の目標値をモニタリングする役割を担うようになった。

そのため、保健福祉動向調査が担ってきた役割は国民健康・栄養調査が肩代わりするかたちとなった。当初は健康日本21(第一次)の各論について5年に1回、重点的に調査が行われるというスケジュールで「歯の健康」では2004年と2009年に生活習慣状況調査の質問を増やして調査された。しかし、「5年に1回」の原則がいつの間にか消えた以降は、調査項目の継続性が弱まった観が

ある。また健康日本21(第二次)における「歯・口の健康」の目標値が疾患ベースの指標優位で行動に関する指標が少なくなったこともあり、「栄調」における調査項目は少なくなった。そして2016年の「歯調」では質問紙調査を初めて本格的に実施するようになり、「栄調」で調査されなくなった項目の受け皿的な役割を担いつつ、新たな項目も調査されるようになった。

このような経過を踏まえて今後の対応を考えると、短期的には2016年の「歯調」で新たに開始された質問紙調査を継続することが重要である。調査項目が継続されないことには経年推移をみることができない。質問項目の信頼性・妥当性に関する科学的検証が重要であることはいうまでもないが、これは中長期的課題と位置づけ、口腔保健の評価体系の構築を図る必要がある。

「基調」については、現状では健康日本21等の口腔保健施策と活用されてこなかった。安定的に継続調査されてきた重要な情報資産であり、学術的見地からの分析例は決して少なくない¹¹⁻¹⁴⁾、今後は施策面の評価への有効活用を検討する必要がある。

なお、今回作成したリスト(表1～表4)は、ウェブサイト¹⁵⁾からExcelファイルとしてダウンロードし、質問項目のある報告書や調査票のサイトにリンクで飛べるようにして利用できるようにしたので、御活用いただきたい。

文 献

- 1) 中村譲治, 筒井昭仁, 堀口逸子, 鶴本明久. 歯周疾患の総合的診断プログラム(FSPD34型)の信頼性と妥当性の検討 歯周疾患自己評価尺度と口腔内診査結果の関連妥当性について. 口腔衛生学会雑誌 1999; 49(3): 310-317.
- 2) 安藤雄一, 池田 恵, 葭原明弘. 質問紙法による現在歯数調査の信頼性. 口腔衛生学会雑誌 1997; 47(5): 657-662.
- 3) 厚生労働省: 歯科疾患実態調査 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/62-17.html> (2017年7月31日アクセス)
- 4) 厚生労働省: 国民健康・栄養調査 http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyou

- chousa.html (2017年7月31日アクセス)
- 5) 厚生労働省：国民生活基礎調査
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/20-21.html> (2017年7月31日アクセス)
 - 6) 深井稜博. 口腔保健行動. In: 口腔保健推進ハンドブック (深井稜博ほか編). 医歯薬. 東京. 2009. 162-163頁.
 - 7) 岡田昭五郎. 昭和62年保健福祉動向調査 (歯科保健). 口病誌 1989; 56 (4): 564.
 - 8) 厚生労働省大臣官房部統計情報部. 平成5年 保健福祉動向調査 (歯科保健). 厚生省官房統計情報部. 1993.
 - 9) 平成11年 保健福祉動向調査の概況 歯科保健:
http://www1.mhlw.go.jp/toukei/h11hftyosa_8/index.html (厚生労働省ウェブサイト, 2017年8月1日検索)
 - 10) 保健福祉動向調査【平成15年調査をもって廃止】
http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/hokenhukushi_15.html (厚生労働省ウェブサイト, 2017年8月1日アクセス)
 - 11) 安藤雄一. 国民生活基礎調査の簡易調査 (1987～2012年) における歯科通院状況の推移. ヘルスサイエンス・ヘルスケア 2013; 13 (1): 3-8.
 - 12) 安藤雄一, 相田 潤, 柳澤智仁, 大山 篤, 恒石美登里, 深井稜博. 傷病別にみた外来通院と経済要因の関連 平成16年国民生活基礎調査による分析. 口腔衛生学会雑誌 2011; 61 (4): 430.
 - 13) 神 光一郎, 土居貴士, 上根昌子, 川崎弘二. 国民の口腔内有訴状況と歯科通院行動に関する検討. 日本公衛誌 2015; 62 (10) 特別附録. 218.
 - 14) 鴨田剛司, 小松崎 明, 小野幸絵. 生活・収入状況と症状評価との関連性について 平成22年国民生活基礎調査匿名データによる検討. 口腔衛生学会雑誌 2017; 67 (増刊): 145.
 - 15) 国立保健医療科学院. 歯科口腔保健の情報提供サイト (通称: 歯っとサイト) - データ (国).
<https://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/data.html> (国立保健医療科学院ウェブサイト, 2017年8月1日アクセス)

Questionnaire items for oral health in Japanese Governmental Surveys

Yuichi Ando

(National Institute of Public Health)

Key Words : Questionnaire, National Survey of Denatal Diseases, National Health and Nutrition Survey, Comprehensive Survey of Living Conditions, Evaluation of oral health

Recently, the importance of questionnaire survey in oral health has become emphasized. In Japan, questionnaire items for oral health have been adopted in National Survey of Dental Diseases, National Health and Nutrition Survey (NHNS), and Comprehensive Survey of Living Conditions (CSLC). However, there was no catalog of these items, and I tried to make this.

By using website information of each survey in Ministry of Health, Labor and Welfare, I made lists of questionnaire items for oral health from 2003 to 2016 in these surveys, dividing them into oral status and oral health behavior.

Questionnaire items for oral health in Japanese governmental statistics did not show sufficient consistency. From 2003 to 2016, continuously surveyed questionnaire items of oral status were only "tooth number" in NHNS and "subjective symptom (teeth, gum, chewing)" in CLSC. Concerning oral health behavior, only "receiving oral health examination" in NHNS and "visiting dental clinic" in CSLC" were continuously surveyed.

Health Science and Health Care 17 (1) : 11 - 18, 2017